

「糖尿病」から、世界共通語の “Diabetes”=「ダイアベティス」へ

今、糖尿病医療の世界は、変わりつつあります。治療の進歩とともに、糖尿病のある人一人ひとりが、病気があっても人生を充実させるためのお手伝いをする、アドボカシーの考え方に基づく医療を提供するという考え方が生まれています。

糖尿病の治療でよく耳にする血糖管理。血糖の自己管理は大切ですが、それが人生のすべてではありません。医療者と共に、二人三脚で病をコントロールできる時代がきているのです。

糖尿病があっても、なにひとつやりたいことを阻害されず、自分の夢を実現できる社会。一病息災で、生き生きと暮らすことができる社会。

そんな社会を実現するのは、わたしやあなたの、糖尿病に対するほんの少しの関心です。正しく知ることは、あなたの健康に役立ち、糖尿病のある人へのやさしい理解につながります。

わたしたちは、皆さんに協力いただきながら、少しずつ糖尿病の新しいイメージを形づくっていきたいと考えます。

「糖尿病」から、世界の共通語である “Diabetes” 「ダイアベティス」へ。

日本糖尿病協会は、糖尿病への偏見をなくすアドボカシー活動を通じて、皆さんがご自分のペースで治療に取り組み、充実した人生を送ることができるよう、これからも力を尽くして参ります。



unite for diabetes

公益社団法人日本糖尿病協会